

大外來直譯の戰術を余りにも承継的投機的を爾も觀念的に
 争より競争へと改山發展する止むなき状態に在り然し乍ら斯くの
 如き状態は國家存立の本義を無視し現下社會の實情を顧みず専ら
 自我に執着し私利私慾を知つて所謂國利民福の何たるやも解せず
 心徒並にして之が亦我國産業の上に一大危機をかもし^能ては自ら
 掘る墓穴と言ふべきなり此の故に吾等は^能國の精神に立脚し國家
 産業に貢獻せん事を其の綱領に於て誓ひ又今日の苦境を打開し明
 日の樂土たらしめんがために斯くの如き状態に在る勞働の自覺
 と反省を促さるる可らず蓋し勞費の關係が合適合法的軌道に乘り
 社會進化の狀態に應じて漸進することは^能て無謀無意識なる彼
 種弊たる勞費の競争に依る相方の疲弊を脱し進歩的發達の^能上に全
 面的産業平和を^能く導く事が出^能ると確信するものである^能上に國家
 を^能外して産業の^能充實を期することを得ず又産業の發展充實
 を^能くして國家興隆國利民福を^能成する^能はざるは^能言を俟たざる事

財團協調會福岡出張所

實である故に吾等は^能國の本義を^能調として和衷協力^能く^能進も^能現
 實に即し世論に^能進は^能ず本會の^能綱領^能趣旨^能之が^能目的^能貫徹^能のため^能吾等と
 所^能節^能を^能同^能上^能する^能同志^能と^能水^能陸^能種子^能として^能不^能動^能なる^能提^能携^能以^能て^能一^能路^能邁^能進^能せ^能ん^能ことを^能敢^能に^能宣^能言^能す

昭和七年十一月十三日

日本製鐵勞働組合聯合會年次大會

財團協調會福岡出張所